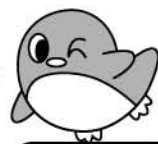


ペンギンレポート



発行所
市民フォーラム
〒183-8703
府中市宮西町2-24

【府中市政報告】Vol.14 平成26年10月30日



府中市議会議員 **山上みのる**

【ご意見ご要望をお寄せ下さい】 E-mail yamagami_229@nifty.com
TEL・FAX 042-366-3543 URL http://yamagami.a.la9.jp/

■プロフィール■
○1956年2月29日生まれ/寿町在住
○府中一小、府中一中、早稲田大学法学部卒業
○「そらとふペンギン」を主宰
(心臓病の子どものための保育教室)
【主な経歴】
保護司/民生委員・児童委員/社会福祉協議会評議員/あけぼの福祉会理事/安立園評議員/府中市学校評価委員/少年補導員/府中四中学校評議員

平成26年度補正予算が成立

補正額は18億円で、補正の主なものは、庁舎建設基金に5億円（基金残高は約51億円）、小・中学校の校舎内照明のLED化、楽器の購入や空調施設の更新など、教育環境整備に4億4千万円となっています。

今回の補正による小・中学校の空調施設整備は、すべてが既存施設の老朽化に伴う更新で、**新設工事は一つありません**。これまでも、空調施設が整備されていない特別教室への整備を要望しているのですが…。



●空調施設未整備の特別教室

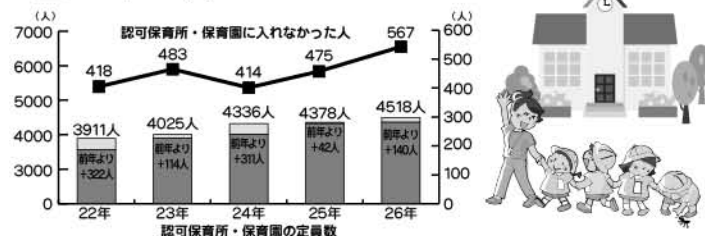
小学校	19校	58室	理科室・図工室・家庭科室
中学校	10校	76室	理科室、金工室・木工室・美術室・被服室・調理室

平成25年度決算が認定

9月18日から25日までの5日間、決算特別委員会において議員全員による審議を行い、9月29日の本会議において賛成多数により認定されました。

●「衛生費」を見ますと、乳幼児の歯科健診、歯磨き指導や成人期の歯科健診は、他市に比べても充実しています。しかし、「教育費」を見ますと、**小・中学校の歯磨き指導がありません**。学齢期に歯周病が始まるとされ、府中市内の小・中学生の歯周病罹患者も増加傾向とのこと。どんなに乳幼児期の取組みを充実させても、これでは効果が半減してしまいますので、小・中学校における歯科保健指導を要望しました。

●待機児童解消の対策として、**5年間で認可保育所・保育園の定員を929名増やしていますが、待機児童は一向に減らないようです。**



ペンギントピックス

- ◆ **中学校の宿泊体験** が修学旅行だけの市は東京都内26市中、府中市だけです。(一般質問から)
- ◆ **理科の実験設備** が不足していましたが、国の補助金により理科の実験環境がほぼ整いました。
- ◆ **府中街道とさくら通りの交差点** は、市民球場側の歩行者滞留スペースが狭く危険でしたが、歩道部分が広がり滞留スペースが確保されます。
- ◆ **市庁舎建設の基本計画** は、敷地拡張の交渉に時間を要しているため、策定が半年遅れています。
- ◆ **稲城・府中メモリアルパーク** の整備工事が若干遅れています。そのため、墓地使用者の募集は平成27年9月以降となります。(詳しくは墓苑組合のHPをご覧ください: <http://www.if-boenkumiai.jp/>)

陳情

件名	市政	市フォ	公明	共産	ネット	友愛	志高	結果
成年後見人等に対する報酬助成に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択
「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回の意見書」提出を求める陳情	×	○	×	○	○	○	×	不採択



市内33の小・中学校では、えんぴつ一本買うのにも、教育委員会の決済が必要です。そのため、教育委員会では、毎日、山のような伝票や文書の処理に追われてしまい、本来の仕事をする時間すらありません。また、学校においても、教員は、なかなか子どもたちと向き合う時間が作れない状況です。

教育委員会や学校における日常的な定型業務の負担軽減が課題であることから、学校事務の最適化、定型業務のスリム化対策として、学校裁量予算を導入している自治体があります。

① 学校裁量予算について

(平成24年第4回定例会の一般質問)

Q 学校裁量予算に対する教育委員会の認識は？

A ⇒ 「①学校側の意向を反映、特色を生かした予算編成ができる ②分散している複数の事業を統合することで弾力的な執行ができる ③効果的な財源の活用ができる」などのメリットがあると認識。

Q 府中市立学校の校長が予算編成・執行を行うためには、校長が府中市の職員でなくてはなりません。しかし、東京都が給与を支払い、任命も行っている府中市立学校の教職員は、府中市の職員？

A ⇒ 府中市立学校の教職員は、府中市の職員となりますが、法の規定により、給与は国・都道府県が負担をし、任命も都道府県が行うことになっています。(県費負担教職員制度)

福岡県の春日市では、学校裁量予算を導入して11年目になります。最大のメリットは、教員が子どもたちと向き合う時間ができたことと、教育委員会が教育政策全般にわたって、さまざまな取り組みができるようになったことだそうです。



② 「セカンドスクール」と中学校の「自然教室」について



中学校の宿泊学習として実施されていた「自然教室」は、「学校教育プラン21」に位置付けられたはずですが、「セカンドスクール」の導入によって廃止されています。中学校への入学直後は、戸惑うことが多く、トラブルやいじめの発生、不登校のきっかけにもなりやすい時期でもあり、学校関係者の中には、中学校の「自然教室」が学級運営の手立てとして欠かせないものとの認識があります。

Q 「セカンドスクール」、武蔵野市と府中市の比較を？

A ⇒	武蔵野市	小5	6泊7日又は7泊8日	中1	4泊5日	地域交流を重視し民宿に分宿
	府中市	小5	4泊5日	中1	-	八ヶ岳府中山荘に宿泊

Q 中学校の体験学習が修学旅行だけの市は？

A ⇒ 26市中、府中市のみ。

Q 中学校の「自然教室」を復活できませんか？

A ⇒ 「セカンドスクール」は成果や課題を明らかにし、宿泊体験学習のあり方を検証する一方、「自然教室」については、学校等の意見や他市の状況を参考にし、調査・研究する。

当時の校長会では「自然教室」をなくさないということで一致していたと聞いています。また、最近、削減や廃止、あるいは、手数料などの値上げの場合に他市と同程度という意味で“他市並みに”という表現がよく使われます。都内26市中、府中市以外の25市の中学校では、修学旅行以外の宿泊体験学習を行っていますので、“他市並みに”「自然教室」を復活させていただけるものと思います。



③ ネットワーク事業について

Q ネットワーク事業の当初目的と期待された機能は？

A ⇒ 平成17年に市内33校のパソコンルームと職員室と教育委員会などを一体的にネットワーク化したうえで、教員・学習支援・校務支援・地域支援を目的に、事務の軽減を図りながら、円滑な学校運営を進めることを期待し導入した。

校務支援のネットワーク化ですが、成績などの個人情報や学校間、あるいは学校と教育委員会でやり取りをすることを想定しているのでしょうか。ベネッセの事件を見ても明らかなように、ネットワーク上で、データを一元管理しようとするれば、高度なセキュリティが必要になり、当然システムも高いものになると思います。



Q 学校現場では、メールや掲示板機能しか使わないと聞きますが、実際は？

A ⇒ メール送受信、閲覧板や掲示板機能のほか、パソコン室ではインターネットを活用している。

Q インターネット環境が整っていれば十分と思いますが、その場合の経費は？

A ⇒ ネットワークシステムの保守料、回線使用料、プロバイダ料等で約3100万円。

現在のネットワーク事業費が約6000万円なので、その差額が約2900万円。これで「自然教室」復活の費用が捻出できたと考えています。

